




# カンボジアの概要

作成 クレアシンガポール事務所 更新日2017年1月

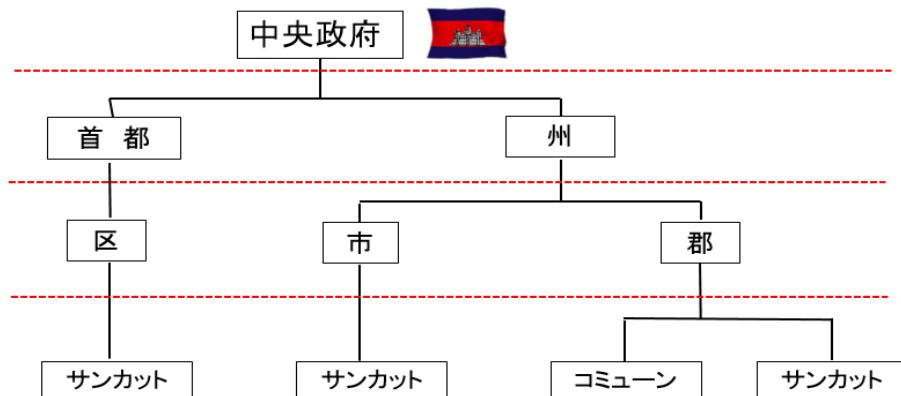
1. 国概要		出典	
正式名	カンボジア王国	①	
国旗	位置図		
		①	
面積	18.1万平方キロメートル(日本の約2分の1弱)	①	
首都	プノンペン	①	
人口	14.7百万人(2013年政府統計)	④	
			
民族	人口の90%がカンボジア人(クメール人)とされている。	①	
公用語	カンボジア語	①	
宗教	仏教(一部少数民族はイスラム教)	①	
通貨(為替レート)	リエル(1米ドル=4,006リエル、2016年3月末時点。中央銀行資料)	①	
略史	9~13世紀	現在のアンコール遺跡地方を拠点にインドシナ半島の大部分を支配。	①
	14世紀以降	タイさらにベトナムの攻撃により衰退。	
	1884年	フランス保護領「カンボジア王国」。	
	1953年	カンボジア王国としてフランスから独立。日本と国交樹立。	
	1970年	ロン・ヌルら反中親米派、クーデターによりシハヌーク政権打倒。王制を廃しクメール共和制に移行。 親中共産勢カクメール・ルージュ(KR)との間で内戦。	
	1975年	KRが内戦に勝利し、民主カンボジア(ポル・ポト)政権を樹立。同政権下で大量の自国民虐殺。	
	1979年	ベトナム軍進攻でKR敗走、親ベトナムの「カンプチア人民共和国」(プノンペン(ヘン・サムリン)政権)擁立。 以降、プノンペン政権とタイ国境地帯拠点の民主カンボジア三派連合(KRの民主カンボジアに王党(シハヌーク)派・共和(ソン・サン)派が合体)の内戦。	
	1991年	パリ和平協定。	
	1992年	国連カンボジア暫定機構(UNTAC)活動開始(1992~93年、日本初の国連PKO参加。)	
1993年	UNTAC監視下で制憲議会選挙、王党派フンシンペック党勝利。新憲法で王制復活。ラナリット第一首相(フンシンペック党)、フン・セン第二首相(人民党:旧プノンペン政権)の2人首相制連立政権。		

1997年	首都プノンペンで両首相陣営武力衝突。ラナリット第一首相失脚。
1998年	第二回国民議会選挙。第一次フン・セン首班連立政権。
1999年	上院新設(二院制へ移行)。ASEAN加盟。
2003年	第三回国民議会選挙。
2004年	第二次フン・セン首班連立政権発足。 シハヌーク国王引退、シハモニ新国王即位。WTO加盟。ASEM参加決定。
2006年	上院議員選挙
2008年	第四回国民議会選挙。第三次フン・セン首班連立政権発足。
2012年	第二回上院選挙。ASEAN議長国。(二回目)
2013年	第五回国民議会選挙。フン・セン首相首班政権発足。

政治

政体	立憲君主制	①
元首	ノロドム・シハモニ国王(2004年10月即位)	①
議会	二院制 上院(全61議席、任期6年、サイ・チュム議長) 国民議会(下院)(全123議席、任期5年、ヘン・サムリン議長(人民党名誉党首))	①
政府	首相:フン・セン(人民党党首)	①

地方自治制度

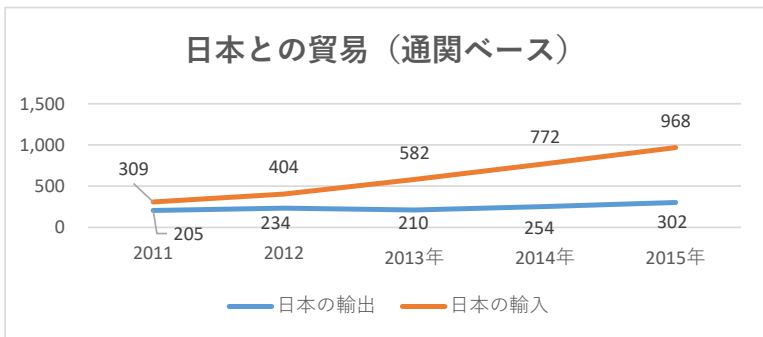


・地方の行政体制について2008年カンボジアの憲法改正により、カンボジアの現在の政治体制は、首都、州、市、郡、区、コミューン、サンカットに区分

・首都・州知事、区・市・郡長はすべて中央政府の内務省職員が任命されるため、国の出先機関としての性質が強い

・コミューン・サンカットでは、住民に選ばれた評議員により運営されており、自治体としての性質が強いものの、内務省の業務を遂行する出先機関としての役目も担っている。

経済																												
主要産業	農業(GDPの30.5%)、工業(GDPの27.1%)、サービス業(GDPの42.4%)(2014年、ADB資料)	①																										
実質経済成長率(%)	<p style="text-align: center;"><b>経済成長率</b></p> <table border="1"> <caption>経済成長率 (2005-2016)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>成長率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2005</td><td>13.25</td></tr> <tr><td>2006</td><td>10.77</td></tr> <tr><td>2007</td><td>10.21</td></tr> <tr><td>2008</td><td>6.69</td></tr> <tr><td>2009</td><td>0.09</td></tr> <tr><td>2010</td><td>5.96</td></tr> <tr><td>2011</td><td>7.07</td></tr> <tr><td>2012</td><td>7.31</td></tr> <tr><td>2013</td><td>7.43</td></tr> <tr><td>2014</td><td>7.07</td></tr> <tr><td>2015</td><td>6.92</td></tr> <tr><td>2016</td><td>6.99</td></tr> </tbody> </table>	年	成長率 (%)	2005	13.25	2006	10.77	2007	10.21	2008	6.69	2009	0.09	2010	5.96	2011	7.07	2012	7.31	2013	7.43	2014	7.07	2015	6.92	2016	6.99	③
年	成長率 (%)																											
2005	13.25																											
2006	10.77																											
2007	10.21																											
2008	6.69																											
2009	0.09																											
2010	5.96																											
2011	7.07																											
2012	7.31																											
2013	7.43																											
2014	7.07																											
2015	6.92																											
2016	6.99																											
物価上昇率(%)	<p style="text-align: center;"><b>物価上昇率</b></p> <table border="1"> <caption>物価上昇率 (2013-2015)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>物価上昇率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2013年</td><td>2.96</td></tr> <tr><td>2014年</td><td>3.85</td></tr> <tr><td>2015年</td><td>1.23</td></tr> </tbody> </table>	年	物価上昇率 (%)	2013年	2.96	2014年	3.85	2015年	1.23	③																		
年	物価上昇率 (%)																											
2013年	2.96																											
2014年	3.85																											
2015年	1.23																											
名目GDP(一人当たりGDP)(USD)	<p style="text-align: center;"><b>名目GDP (一人当たりGDP)</b></p> <table border="1"> <caption>名目GDP (一人当たりGDP) (USD) (2013-2015)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>名目GDP (USD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2013年</td><td>1,010</td></tr> <tr><td>2014年</td><td>1,096</td></tr> <tr><td>2015年</td><td>1,168</td></tr> </tbody> </table>	年	名目GDP (USD)	2013年	1,010	2014年	1,096	2015年	1,168	③																		
年	名目GDP (USD)																											
2013年	1,010																											
2014年	1,096																											
2015年	1,168																											
失業率(%)	-																											
総貿易額(100万ドル)	<p style="text-align: center;"><b>総貿易額</b></p> <table border="1"> <caption>総貿易額 (100万ドル) (2013-2015)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>輸出額</th> <th>輸入額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2013年</td><td>9243</td><td>9217</td></tr> <tr><td>2014年</td><td>10787</td><td>17527</td></tr> <tr><td>2015年</td><td>11932</td><td>18717</td></tr> </tbody> </table>	年	輸出額	輸入額	2013年	9243	9217	2014年	10787	17527	2015年	11932	18717	③														
年	輸出額	輸入額																										
2013年	9243	9217																										
2014年	10787	17527																										
2015年	11932	18717																										
貿易品目	(1)輸出 衣類(50.3%)、印刷物(37%)、履き物(3.9%)、穀物(2.1%)、ゴム(1.3%) (2)輸入 織物(35%)、機械(9%)、電気機器(5%)、石油製品(4%)、車輛(4%)	①																										
主要貿易相手国	(1)輸出 米国(23%)、英国(9%)、ドイツ(8%)、日本(7%)、カナダ(7%) (2)輸入 タイ(28%)、中国(22%)、ベトナム(16%)、香港(6%)、シンガポール(6%)[日本(2%)(第10位)]	①																										

2.日本とのかかわり		出典																		
大使館	プノンペン																			
大使	堀之内 秀久(2016年10月～)																			
進出企業数	172社(2016年5月時点)	②																		
日系レストラン数	-																			
日本企業の投資件数と投資額	投資件数 80件 投資額 5億4,918万ドル(2014年)	②																		
在留邦人数	2,270人(2014年10月現在)	①																		
留学生数	-																			
観光																				
訪日旅行者数(万人)	-																			
旅行形態	-																			
貿易																				
日本との貿易(通関ベース)(100万ドル)	 <table border="1"> <caption>日本との貿易 (通関ベース)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>日本の輸出 (100万ドル)</th> <th>日本の輸入 (100万ドル)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2011</td> <td>205</td> <td>309</td> </tr> <tr> <td>2012</td> <td>234</td> <td>404</td> </tr> <tr> <td>2013年</td> <td>210</td> <td>582</td> </tr> <tr> <td>2014年</td> <td>254</td> <td>772</td> </tr> <tr> <td>2015年</td> <td>302</td> <td>968</td> </tr> </tbody> </table>	年	日本の輸出 (100万ドル)	日本の輸入 (100万ドル)	2011	205	309	2012	234	404	2013年	210	582	2014年	254	772	2015年	302	968	②
年	日本の輸出 (100万ドル)	日本の輸入 (100万ドル)																		
2011	205	309																		
2012	234	404																		
2013年	210	582																		
2014年	254	772																		
2015年	302	968																		
日本の主要輸出入品目	(1)輸出 車両(27.4%)、建設機械(23.1%)など (2)輸入 衣類(40.9%)、履物(18.7%)など	②																		

3.自治体の活動		出典
自治体交流		
姉妹自治体	2016年 北九州市 プノンペン(インフラ整備や都市環境の改善に協力するとともにビジネス交流も進める)	
トップセールス実績(渡航通知ベース)	(2016) 石川県小松市(シエムリアップ州との協定)	
JET参加者の数(現役)	-	
JETAA支部	-	
クリア関連事業	2006年、2007年 クリア専門家派遣事業 - 窯業技術高度化支援 - 栃木県窯業技術支援センターからコンポン・チュナン州へ専門家を派遣	

4.その他渡航情報		出典
入出国	入国にあたっては各種ビザが必要。	
旅券の残存期間	出国時6ヶ月以上	
日本との時差	-2時間	
祝日(2017年)	1月1日(日) 新年 1月7日(土) 虐殺政権からの解放の日 2月11日(土) 万仏節 4月14日(金)～16日(日) クメール正月 5月1日(月) メーデー 5月10日(水) 仏誕節 5月13日(土)～15日(月) シハモニ国王誕生日 5月14日(日) 王室始耕祭 6月1日(木) 国際こどもの日 6月18日(日) モニク前王妃誕生日 9月19日(火)～21日(木) 孟蘭盆 9月24日(日) 憲法記念日 10月15日(日) ノロドムシハヌーク前国王記念日(命日) 10月23日(月) パリ和平協定記念日 10月29日(日) シハモニ国王即位記念日 11月2日(木)～4日(土) 水祭り 11月9日(木) 独立記念日 12月10日(日) 国際人権の日	
予防接種の必要性	A型肝炎、B型肝炎、破傷風、(狂犬病*1)、(日本脳炎*2) *1: 犬や野生動物との接触が予想される場合は推奨 *2: 農村部に長期滞在する場合は推奨	
気候	熱帯モンスーン気候	
電話の掛け方	国際電話会社の番号+855(国番号)+最初の0を取った電話番号	
電力	220V、50Hz 日本の100V用電気製品を使用するには変圧器が必要	
水道水	水道水は避ける。ミネラルウォーターを飲用した方がよい。	
日本からのフライト時間	直行便で約6時間30分	

【出典】

- ①外務省HP <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/cambodia/data.html>
- ④人口ピラミッド <https://populationpyramid.net/ja/%E3%82%AB%E3%83%B3%E3%83%9C%E3%82%B8%E3%82%A2/2015/>
- ②JETRO [https://www.jetro.go.jp/world/asia/kh/basic\\_01.html](https://www.jetro.go.jp/world/asia/kh/basic_01.html)
- ③JETRO基礎的経済指標 [https://www.jetro.go.jp/world/asia/kh/stat\\_01.html](https://www.jetro.go.jp/world/asia/kh/stat_01.html)